目次に戻る

【SR-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	HQ_04：一般労働者のメンタルヘルス疾患の予防にDHTを用いた運動介入（歩行パラメーターの利用、等）は、メンタルヘルス不調の一次予防に有用か
対象	一般労働者
介入	DHTを用いた運動介入（歩行パラメーターの利用、等）
対照	待機群、通常治療群、アクティブコントロール

エビデンスの強さはRCTは"強（A）"からスタート、観察研究は"弱（C）"からスタート
＊各ドメインは"高（-2）"、"中/疑い（-1）"、"低（0）"の3段階
＊＊上昇要因は"高（＋2）"、"中（＋1）"、"低（0）"の3 段階。
＊＊＊エビデンスの強さは"強（A）"、"中（B）"、"弱（C）"、"非常に弱（D）"の4段階
＊＊＊＊ 重要性はアウトカムの重要性（1～9）

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）							
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差	平均値差・標準化平	標準偏差

エビデンス総体

								リスク人数（アウトカム率）											
アウトカム	ン イ	ス ア	貫 一 非	確 精	接 直 非	バ 版	因	群 照 対	値 均 平	偏 準	群 入 介	値 均 平	偏 準	標	統 標 指	95	ス ン デ ビ	重 ＊	コメント
精神症状（介入終了後調査時点での抑うつ・不安症状）	RCT/4	-2	0	0	0	0		164	-0.61	3.91	139	-1.58	4.32	d	-0.51	-0.75 to -0.27	弱(C)	9	Falk GE, 2022: Wadhen V, 2021: Carter SE, 2020: Irvine AB, 2011
精神症状（介入終了後調査時点での主観的ストレス）	RCT/5 cRCT/1	-2	-1	0	0	0		451	-0.69	3.17	374	-2.13	2.96	d	-0.24	-0.53 to 0.04	非常に弱(D)	9	Falk GE, 2022: Wadhen V, 2021: Carter SE, 2020: Lee H, 2014: Irvine AB, 2011: Linnan LA, 2020
ポジティブメンタルヘルス（介入終了後調査時点での心理的ウェルビーイング）	RCT/4 cRCT/1	-2	0	0	0	0		319	0.49	8.05	341	3.41	7.56	d	0.39	-0.04 to 0.81	弱(C)	8	Falk GE, 2022: Wadhen V, 2021: Carter SE, 2020: Hunter RF, 2018: Lee H, 2014
精神健康関連QOLおよび機能（介入終了後調査時点での精神健康関連QOL）	RCT/2 cRCT/1	-2	0	0	0	0		277	0.73	8.99	307	1.30	8.98	d	0.12	-0.05 to 0.28	弱(C)	8	Haufe S, 2020: Lee J, 2017: Hunter RF, 2018
仕事関連アウトカム（介入終了後調査時点でのプレゼンティーズム/パフォーマンス）	RCT/3 cRCT/1	-2	0	0	0	-1		525	-0.30	9.48	551	-0.05	9.29	d	0.02	-0.10 to 0.14	非常に弱(D)	8	Falk GE, 2022: Carter SE, 2020: Reijonsaaari K, 2012: Hunter RF, 2018

コメント（該当するセルに記入）